

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 252

事務事業名	認定こども園特別支援教育・保育事業
-------	-------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	こども未来部		
課名	こども政策課		
課長名	田下 陽一	内線	170
担当者名	寶藏寺 和彦	内線	170

基本目標		人を育むまち
政策	010201	豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		幼児教育の充実
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	2	児童福祉費	
目	1	児童福祉総務費	
事業コード	020109	認定こども園特別支援・保育事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	おおむら子ども・子育て支援プラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	障害児を保育するための保育士を配置した私立認定こども園		
意図 対象をどのような状態にしたいか	特別な支援を必要とする子どもに適切な幼児教育を提供し、在園する子どもの発達を促進する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	施設に2人以上の障害児を受入れ、職員を加配する場合に必要な人件費の一部を補助する。 ≪基準額≫ 障害児(1号認定子ども)1人当り月額 65,300円 ※1号認定子ども・・・子ども・子育て支援法第19条第1項第1号に該当する子ども (幼稚園、認定こども園(短時間部))		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	子ども・子育て支援交付金交付要綱、大村市すくすく保育支援事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 認定こども園特別支援教育・保育事業補助対象施設	計画値			1	2	
		実績値			1		
		達成度	%		100.0%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 対象児童数	計画値			3	6	
		実績値			5		
		達成度	%		166.7%		
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	3,265	4,702	4,702	4,702	4,702	0
国庫支出金			1,088	1,567	1,567	1,567	1,567	
県支出金			1,088	1,567	1,567	1,567	1,567	
地方債								
その他								
一般財源			1,089	1,568	1,568	1,568	1,568	
② 人件費(千円)	0	0	705	384	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)			0.10	0.05				
時間外勤務(時間)				10				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	3,970	5,086				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の 改善・改革の進捗等)	平成27年度から開始した子ども・子育て支援新制度に伴う事業であり、新制度へ移行した園に適切に補助を行うことができた。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	対象児童の受け入れ易い環境を整えることで、就学前に適正な教育・保育を提供でき、その必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	対象児童に係り、良質かつ適切な教育・保育環境を整えるため、市として関与していく必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	本事業の実施により、施設は特別な支援を要する子どもの受け入れを円滑にできる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	特別な支援を必要とする子どもの保育等多様なニーズに対応でき、本事業が本市の教育・保育の推進に寄与する。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	子ども・子育て支援交付金において補助基準額が定められており、見直しの余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	国及び県の補助基準に基づき、市の負担割合は決定される。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も事業を活用する園に対し補助を行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	事業を活用する園に対し補助を行うことで、特別な支援を必要とする子どもに適切な幼児教育の提供が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。